

第7次エネルギー基本計画に向けた REASPの提言

～発電事業者から見た再エネ大量導入への道筋～

—講師—

一般社団法人再生可能エネルギー長期安定電源推進協会

事務局長 川崎 雄介 氏

日時 2024年10月10日(木) 午前10時～12時
受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)
会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

現在、我が国では2050年カーボンニュートラル達成に向け、第7次エネルギー基本計画の議論が行われております。

グローバル企業のサプライチェーンでは、取引先に100%再エネを求める動きも出てきており、企業の脱炭素化が避けては通れません。再生可能エネルギーは主力電源として期待度がさらに高まっています。

今回、「再エネを増やす」、「再エネを減らさない」、「再エネの市場統合と高付加価値化」の3つの観点から次期エネルギー基本計画に向けた提言を説明します。

1. REASPのご紹介
2. 再生可能エネルギー導入・主力電源化の必要性
3. 再エネ事業者求められる行動
4. 再エネの更なる大量導入・主力電源化に向けた施策案
5. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 川崎 雄介(かわさき ゆうすけ)氏

1990年 慶応義塾大学商学部卒業後、東急不動産株式会社に入社。リゾート部門に配属となり、開発、運営、会員権販売などを歴任後、社内ベンチャー事業(イーウェル、東急少額短期保険)の企画、立ち上げ、経営に参画。2020年 一般社団法人再生可能エネルギー長期安定電源推進協会(REASP)に出向し、事務局長として従事中。

